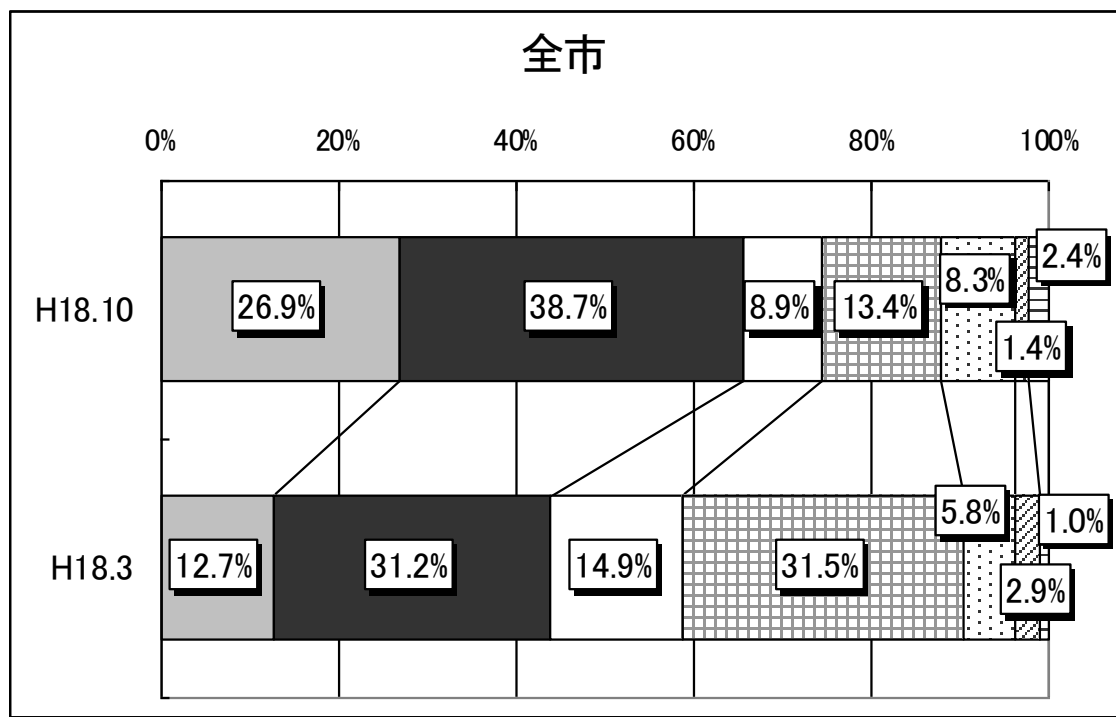


ごみ有料化に関する市のアンケート調査結果

■ 賛成 ■ どちらかといえば賛成 □ 反対 □ どちらかといえば反対 □ どちらでもよい □ わからない □ 無回答



H18.10 … 賛成:65.6%、反対:22.3%、その他:12.1%

H18. 3 … 賛成:43.9%、反対:46.4%、その他: 9.7%

地震に負けずに吉中体育祭

グラウンドに大きなひび割れができるなど地震被害にあった吉川中学校で9日、恒例の体育祭が行われました。

開会式で挨拶した実行委員長の石田望さんは、地震にめげずに体育祭の準備をすすめてきたことをたたえるとともに、各種競技で全力をあげるよう訴えました。

30度を越える猛暑でしたが、「追いかけ玉入れ」「借り物レース」(写真)などの競技に参加した生徒は全力集中。保護者席からも熱い応援の声が飛んでいました。



今回のごみ有料化条例は、上越市廃棄物減量等推進審議会からの「住民の納得が得られ且つ過大な負担とならないよう、住民負担率を各々のごみ処理費用等の20%以上に

逆転し、賛成が上回る。理論的にはありうることでありますが、比較するならば同じ条件、同じ無作為抽出方式でやらないと不公平ではないでしょうか。

吉川区の石綿管更新で31億円

市ガス水道局が策定した水道の石綿管更新計画を裏面に掲載しました。吉川区だけで全体の42%を占めています。B4サイズに印刷したため、文字が小さくなりました。お許しを。

今回の有料化が実施されると、「燃やせるごみ」が1・1円、「生ごみ」が1円、「燃やせないごみ」が1・2円(いずれも1リットルあたり)かかります。ごみを担当している生活環境課は、吉川区の場合、これまでよりも1ヶ月あたり1世帯で125円負担が増えると試算しています。

9月議会に、「廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正」(ごみ有料化条例)が提出され、審議されています。

総括質疑での市長答弁や市議会厚生常任委員会に提出された資料によると、ごみ有料化については「市民の理解を得た」としています。昨年3月時点で、無作為抽出方式で行った2500人からのア

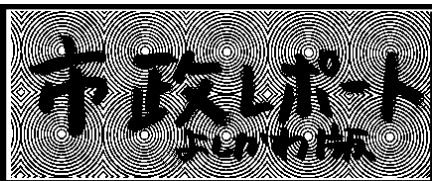
ンケート調査では賛成43%、反対46%だったが、昨年10月の説明会時での参加者アンケートでは65%が賛成となった。このことから、丁寧に説明した結果、一定の合意が得られたものと判断しているというのです。どちらのアンケートも市民意識をさぐる資料ではありません。しかし、調査のやり方が違います。片方は無作為抽出方式、もうひとつは市の説明会参加者のみのアンケートです。反対が多

比較するならば同じ条件でやるべきだ

設定すべき」との答申を踏まえて提出されたもので、住民の理解、納得が前提とならなければなりません。

全国の市町村において、ごみ有料化がされているのは53%(昨年10月現在)。上越市では、全市有料化により得た収入はマイバッグの全戸配布、枯葉などの堆肥化集積所の設置、現在のごみ集積場の整備(修繕)、不法投棄、不適正排出防止などのために使いたいとしています。

私のホームページ『小さな町の幸せ通信』のURL(アドレス)が変わりました。新URLは <http://www.hose1.jp/> です。



NO 1312
2007.9.16

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>